

平成24年行政事業レビューシート(総務省)

事業名	安全な暗号・認証技術の利活用促進	担当部局庁	情報流通行政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成24年度	担当課室	情報セキュリティ対策室	室長 山崎 良志			
会計区分	一般会計	施策名	V-1 情報通信技術の研究開発・標準化の推進				
根拠法令(具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第75号	関係する計画、通知等	「国民を守る情報セキュリティ戦略」(平成22年5月 情報セキュリティ政策会議決定)、「情報セキュリティ2011」(平成23年7月 情報セキュリティ政策会議決定)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	現在、安全な通信環境を実現する暗号・認証技術を利用した通信プロトコル※(以下、暗号プロトコル)の安全性については、その安全性を確認する標準化された評価手法や利用に関する指針等が存在せず、経験則に依存している。そのため、暗号プロトコルの客観的かつ定量的な評価を実現するため、必要な調査、実証実験等を実施し、暗号プロトコルの評価ツール、ガイドライン等を作成する。 ※通信プロトコル:通信手順						
事業概要(5行程度以内。別添可)	暗号プロトコルの安全性について、客観的かつ定量的な評価を実現するため、以下の調査、実証実験等を実施する。 ○暗号プロトコルに関する標準化動向、技術動向等の調査研究を実施。 ○暗号プロトコルに関する評価の試行、評価ツールの試作等を実施。 ○調査研究及び実証実験の結果を基に、暗号プロトコルに関する安全性評価のガイドラインを策定。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	—	—	0	0	0
		補正予算	—	—	605	0	
		繰越し等	—	—	-603	603	
		計	—	—	2	603	0
	執行額	—	—	0			
執行率(%)	—	—	0				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(一年度)
	本事業は、暗号プロトコルの客観的かつ定量的な評価を実現するため、必要な調査、実証実験等を実施し、暗号プロトコルの評価ツール、評価ガイドライン等を作成するものであり、定量的な成果指標を定めることは困難。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	上記と同様の理由により、定量的な活動指標を定めることは困難。	活動実績(当初見込み)		—	—	—	—
				—	—	—	(—)
単位当たりコスト	—		算出根拠	—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	—	0	0	平成23年度で事業終了(平成23年度予算を平成24年度に繰越)			
	計	0	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	○本事業は、安全な通信環境を推進するものであることから、広く国民のニーズがあり、優先度の高い事業、及び国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	○本事業の実証実験の支出先の選定にあたっては、競争性のある入札により透明性及び競争性を確保する予定である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	○現在、暗号プロトコルの安全性については、その安全性を確認する標準化された評価手法や利用に関する指針等が存在せず、同様の取組も実施されていないことから、本事業は他の手段と比較して実効性の高い手段となっている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○本事業は、暗号プロトコルの安全性について、客観的かつ定量的な評価を実現するために、必要な調査、実証実験等を実施するものであり、広く国民のニーズがあり、優先度の高い事業、及び国が実施すべき事業である。</p> <p>○支出先の決定にあたっては、競争性のある入札により透明性及び競争性を確保する予定である。</p> <p>○本事業における実施にあたっては、事業目的を十全に達成するため調達の際の仕様書を厳密に作成することとする。また、支出先との会合を定期的に設定し、実施内容に関する報告を適宜受けるとともに、支出先に指摘・助言等を行うことにより、実効性の高いものとする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	平成23年度をもって事業終了		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	初期の目標を達成したことから、平成23年度をもって事業終了(平成23年度予算を平成24年度に繰越)		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新24-0017

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					